



= 5 =

# 東京オリンピック 聖火リレー

昭和39年10月6日



聖火が富士市の走者のトーチに(富士川橋東側水  
神付近)  
元吉原付近

## 東京を目指して次々とリレー

東京オリンピック開催直前の昭和三十九年十月六日、開催地東京を目指した聖火が、国道一号(現在の県道富士・由比線)の富士川橋を渡り、ついに富士市に到着しました。聖火を運ぶリレー隊は、各競技で活躍している高校生や社会人を中心に編成。国道を旧富士市では三区間、旧吉原市では四区間に分けて、聖火は白煙をなびかせながら、リレー隊によって堂々と運ばれていきました。

なお、ことしの国体では、炬火リレーを実施。富士山の頂上で採火された炬火を多くの市民の皆さんがリレーします。

「聖火」という名称は、オリンピックなどでしか使用できません。

## 沿道や中継所には大勢の皆さんが

当時、高校の陸上部の顧問をしていましたので、元吉原地区を走る区間の中継責任者を務めました。中継所や沿道には、日の丸やオリンピックの小旗を持って声援を送る市民の皆さんが大勢いました。ずいぶん盛り上がりましたね。日本で最初のオリンピックで、もちろん聖火を見るのも初めてですから、皆さんの期待や関心も大きかったと思います。国体でもこうしたリレーが見られると思うとわくわくします。



聖火リレーで区間責任者を務めた  
佐藤 嘉邦さん  
(桑崎)

## こちら編集室

先日、広島市に行く機会があったので、広島平和記念資料館にも足を運んだ。原爆については自分なりに理解していたつもりなのだが、黒く焼け焦げた遺品、熱線や放射線による被害を紹介した展示を改めて見て、あまりの衝撃に涙がとまらなくなった。

一番恐ろしいのは、広島を一瞬にして廃墟にし、20万人もの命を奪ったのは人間であり、天災ではないということ。そして、どんな天災よりも恐ろしい結果をもたらしたということである。  
戦争は、百害あって一利なし、心からそう思った。(ゆ)

人口	242,617人 (前月比+90)
男	120,748人 (+3)
女	121,869人 (+87)
世帯	84,841世帯 (+89) 7月1日現在
編集・発行	富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100	
☎0545-51-0123 (代) ☎0545-51-1456	

